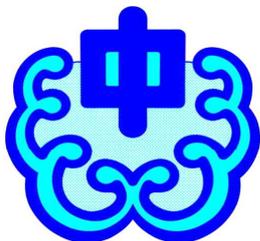


浪江中だより

平成30年度 第14号
2018. 7. 20
文責 校長 鳴原 俊洋



教育目標

- 自ら探求的に学ぶ生徒
- 礼儀正しく、節度ある生活をする生徒
- 健康で、安全な生活をする生徒
- ◇ 自分に自信を持ち、行動できる生徒（今年度重点目標）



1学期無事終了しました ～充実の夏休みに向けて～

本日で72日登校日のあった1学期が終了しました。大きな事故・事件もなく4名の生徒と終業式を迎えられたことをうれしく思います。保護者の皆様には、様々な教育活動において、ご理解ご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。充実した夏休みに向けて、終業式の中でこんな話をしました。（校長式辞より抜粋）



3年生の皆さん、よく3年の夏は「勝負の時期だ」と言われます。勝負ですから相手がいます。その相手とは誰でしょう。その通り、自分です。では、自分の何と戦うのでしょうか。それは、心です。「遊びたい」「休みたい」そんな人間の弱い心と戦う勝負がこの夏休みには待っているのです。ぜひ、自分の心に打ち勝って、「やり遂げた」という心の勝利をつかんでほしいと思います。その自信はきっと2学期以降の様々な場面で生かされるはずです。

2年生の夏休みは、心身の成長に大きなチャンスです。長い期間を利用して、心に栄養を蓄えてください。一番いいのは読書です。たくさん本を読んでください。そして、部活動を通して丈夫な体を作ってください。新人戦も待っています。2学期以降の活動が充実したものとするために、心身の基礎作りをお願いします。

最後に、夏休みの多くは家庭での生活です。家族に感謝の気持ちを表す絶好の機会です。何か一つでもお手伝いを見つけ、家族の一員として37日間やり続けてみてください。

明日から37日間の夏休みに入ります。この期間は保護者の皆様の協力が不可欠です。心身共に大きく成長するために、子どもたちへの言葉かけをお願いします。

人権教室

人権とは、人が人として幸せに生きていくための権利

7月17日（月）、大熊町教育委員会指導主事 鈴木恵一様を講師にお招きし、人権教室を開催しました。

リトアニアにいる約6,000人のユダヤ系避難民に対してビザを発行した、杉原千敏の生き方を通して、自分を見つめ、考える講演でした。鈴木先生は、最後にこんなメッセージを生徒に送ってくださいました。



「いじめという目は持たないで、おりめ、まじめ、けじめ、そしてゆめという目を持ちましょう。」